

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	外出が少ないので天候がよくなればテラスでお茶等を飲みながら会話をされ楽しまれてはどうか	天気の良い日には、ドライブに出かけたり、テラスでのお茶を楽しむことができる	・ドライブを企画する ・天気の良い日には、テラスに出て気分転換を行う	1ヶ月
2	26	利用者の出来ること、出来ないことについて、認知症なのか、加齢によるものか細かく検討されると良い	アセスメントをしっかりと行う	・カンファレンス及び全体会議を活用し、再アセスメントを行う	6ヶ月
3	2	今後保育園、小学校、中学校との繋がりが強化できると良い。また公民館のサークル等の付き合いも良い	交流できる機会を設ける	・中学校の職場体験の受け入れを行う ・公民館にボランティアのお願いに行く	6ヶ月
4	23	人生の生きがいにつながるよう日々の会話にも気を付ける	会話を通し、お客様の役割り・楽しみを見つける	・会話から見えたこともアセスメント表に加え実施できるようにする	12ヶ月
5	5	市全体のグループホーム待機者人数の把握の一元化を市役所に要望されても良い	市へ提案する	運営推進会議を活用し提案する	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。